

杉並区で暮らす外国人ルーツの人 ✨ ペトル・ホリーさんにお話を聞きました ✨

ペトル・ホリーさんが初来日したのは1990年。短期語学留学生として1カ月間滞在し、その後、国費留学生として再来日して、歌舞伎の研究に打ち込みました。2006年から6年間はチェコ大使館が設立したチェコセンターの初代所長を務め、2012年に杉並区民になりました。現在は通訳・翻訳業のかたわら、チェコをさまざまな角度から紹介する「チェコ蔵」を主宰しています。2021年4月には一般財団法人杉並区交流協会理事に就任されました。

ペトルさんと杉並区交流協会の出会いは2017年11月に開催した「海外文化セミナー・チェコ」。「チェコの魅力」と題する講演の中で、ペトルさんは民俗学者で建築学者でもあった今和次郎さんが欧州見聞旅行の途上で、プラハから阿佐ヶ谷の妻に葉書を送ったことを紹介されました。1930年のことです。(広報T)



インタビューでのペトルさん

✨ チェコと日本とのつながり

私が日本に関心をもったきっかけは14歳の時に母親からもらった1冊の本でした。それから図書館や古本屋で日本関係の本を読みあさりました。印象に残ったのは、19世紀末から20世紀初頭に日本を訪れたチェコの人たちが書いた旅行記です。新渡戸稲造の『武士道』は1904年にチェコ語に翻訳されていますし、プラハには戦前から続いている盆栽や空手クラブがありました。高校生の時には映画館で「楢山節考」や「砂の女」、「乱」など日本映画も観ました。チェコには親日家が多いのです。

日本にもチェコとのつながりを見出すことができます。岩倉使節団に随行した伝習生たちがチェコで学んだのは、鯉の養殖や金属加工の研磨、カットガラスの技術です。平山成信さんの『昨無録』という記録書の中に出てきます。

また日本にはチェコ人が手がけた建築物がいくつも残っています。たとえば、広島原爆ドームは、もとはチェコの建築家、ヤン・レツルが設計した広島県物産陳列館（1915年完成）です。レツルは聖心女子学院や上智大学の初代の建物を設計しました。

帝国ホテルを建設するため1919年来日したアントニン・レーモンドもチェコ出身のアメリカ人です。独立して設計事務所を立ち上げ、聖路加国際病院や東京女子大学礼拝堂などの設計も手がけました。関東大震災で倒壊した横浜のカトリック山手教会を再建（1933年）したのは、同僚のチェコ人、ヤン・ヨセフ・スワガーです。

✨ ドイツ語とチェコ語

チェコは1918年までオーストリア＝ハンガリー帝国に支配され、1939年からはドイツの保護国にされました。公用語はドイツ語でチェコ語は庶民の言葉でした。どちらの言葉が得意かで出身階層が分かります。例えば、チェコを代表する音楽家のスメタナは中流の良家出身だったのでドイツ語で育ち、庶民出身のドボルザークはチェコ語が話せるといった具合です。こうした歴史があるため、チェコの人たちは戦争が大嫌いです。



チェコの街並み



第14回日本語スピーチ大会での講演



チェコプラハ川



2017年11月海外文化セミナーでの講演

ペトルさんは17歳まで共産主義の社会で育ちましたが、意外なことに西側の情報も得ていたと言います。テレビアンテナの向きを少し変えると西ドイツの放送が聞けたのです。1989年11月17日金曜日に起きたビロード革命を担ったのは若者たちでした。一人の犠牲者も出さなかったことが誇りです。翌日弟と国民大通りに行くとローソクが灯され、おばさんたちが泣いていたり、大人たちが2～3人ずつ集まって語り合っていました。週明けの月曜日には高校でもストライキがはじまり、ドミノ倒しのようになり、12月には新しい大統領が選ばれました。このような劇的な歴史的瞬間に17歳で立ち会ったことは、ペトルさんの社会の見方や人生観にどのような影響を与えたのでしょうか。次の機会に伺いたいです。

✨ おすすめの観光スポット

南ボヘミアにある世界遺産チェスキー・クルムロフをお勧めします。街のシンボルであるお城を造るための巨額な財源を領主はどうやって手に入れたのでしょうか。鯉の養殖だと言われています。プラハにもチェスキー・クルムロフにも、ルネッサンスにゴシック、そしてアールヌーボーなど時代を特徴づける建物がたくさん残されています。残っているだけでなく、いまも住居として使われています。時代は変わっても、残すべきものは残していくことが大切だと思います。

チェコの庶民はバロック文化を大切にしています。日本の歌舞伎にはバロック的なところがあるように思います。歌舞伎の所作は大きさですね。誰にでも、遠くからでも見えるように工夫しているところに、バロック演劇との共通性を感じます。

チェコには世界遺産が15～16カ所あります。チェコは北海道と同じくらいの広さなので、プラハから地方にも日帰りで行けます。おいしいビールと白ワインもありますが、あまり輸出していないので、ぜひ、現地でお楽しみください。

✨ 杉並区の魅力

杉並区の魅力は場所によって「むら」のような雰囲気が残っているところ。私の家の近くには井伏鱒二さんが住んでいた家があります。昨年『シブヤで目覚めて』を出版したアンナ・ツィマさんも杉並区民です。この小説はチェコ最大の文学賞であるマグネシア・リテラ新人賞ほか多数の賞を受賞しました。杉並区は今も昔も文豪や文化人に愛されています。杉並区と協力して女子美術大学の学生たちとキャラクター創作や、銭湯の復活などに取り組んだことがあるので、アートビエンナーレみたいなことができないだろうか、漠然とした夢も描いています。皆さんと相談しながら、「杉並区は文化的で創造的な面白い地域だ」とアピールをするお手伝いをしたいと思います。

第19回 外国人による日本語スピーチ大会

日時：2022年3月12日 13:30～17:00 場所：杉並区役所 第4会議室

外国人による日本語でのスピーチ大会は、8カ国13人の発表者と約100人の観覧者を迎えて開催されました。大会出場者は学んだ日本語力で、日頃考えている意見や希望を披露しました。

今回の発表全体の印象として、最近の社会情勢を反映した積極的意見やまた様々な「愛」を深く捉えている視点が感じられました。また、それぞれの出身国の文化を背景にした、のびのびとした個性が伝わる活気に溢れた大会でした。(広報Y)

以下は発表者の一覧です。(氏名・国籍・タイトルの順での一覧の掲載)

No	氏名	国籍	タイトル	No	氏名	国籍	タイトル
1	アディカリ ヲパマ Adhikari Upama	ネパール	ネパールと日本の料理	8	ファム ティ トゥ ハー Pham Thi Thu Ha	ベトナム	ベトナムで 野菜の有機栽培に挑戦したこと
2	ユディヤント Yudiyanto	インドネシア	人生の価値とは???	9	ワユ ウイディヤニルム Wahyu Widyaningrum	インドネシア	音響式信号機に気づかされること
3	ス ニン トゥー Su Nyein Thu	ミャンマー	私の望み	10	テツ ナイン ウー Htet Naing Oo	ミャンマー	お父さんありがとう
4	ウタエフ ラジズ Utaev Laziz	ウズベキスタン	パワハラをなくすには	11	ポンクシェ プーヴァ Ponkshe Poorva	インド	日本とインドの食文化と伝統文化の共通点と違い
5	チン スイ 陳 蕊 Chen Sui	中国	日本と中国の相違点	12	チャン ティ ホアイ フォン Tran Thi Hoai Phuong	ベトナム	コロナで感じたこと
6	テツ ティリ サン Thet Thiri San	ミャンマー	私の国 ミャンマー	13	コ レイビ 胡 灵熙 Hu Lingxi	中国	その曖昧さこそ、日本的な美しさ
7	テンジン ジャムツォ Tenzin Jamtsho	ブータン	日本にきているいろいろ経験したこと				

▶ これらの発表の中から、以下の賞が授与されました。



最優秀賞
ス ニン トゥー
3. Su Nyein Thu



優秀賞
テツ ナイン ウー
10. Htet Naing Oo



優秀賞
ポンクシェ プーヴァ
11. Ponkshe Poorva



審査員特別賞
チン スイ 陳 蕊
5. 陳 蕊
テツ ティリ サン
6. Thet Thiri San
ワユ ウイディヤニルム
9. Wahyu Widyaningrum



津軽三味線 北村姉妹



集合写真

アンケートで寄せられたコメント

- ◆ 初めてこの大会のスピーチを拝聴しました。スピーチの内容が興味深く、うなづきながら楽しく時間を過ごしました。
- ◆ 日本に来られた外国人の方々の生の声が聞いて良かったです。世界と日本とのいい窓口になっていただきたいと思います。
- ◆ それぞれ素晴らしいスピーチで感動しました。日本と母国との架け橋として、これからのご活躍に期待しています。
- ◆ 様々な国からの来日者によるスピーチは、日本人にとって自分たちの国を再認識できる良い機会となりました。
- ◆ 皆さん方のパワーと視点の新鮮さに感動しました。